

年組名前

山や川、森や海といった自然環境は、私たちの心と体にうれしい効果を与えてくれます。あなたは、自然の良いところについて、どのよ

うな思いを持っていますか。下の条件に合わせて書きましょう。

自然観察会「準スタッフ」の高校生

鈴木蒼志さん

自然の魅力みりよく伝えたい

横手市で開かれる子ども対象しょうの自然観察会しやうぜんくさんかいで高校生こうせいながら「準スタッフじゆんすたふふ」として案内する勘かんの鋭すどさで、指導しどうに当たるスタッフから一目置いちもくかれるようになった。

役を務め、参加者に生き物の生態などを伝えている。幼い頃から動植物に関心があり、図鑑を熟読したり、身の回りの自然を探索したりして知識を深めてきた。

6月21日に真人山で開かれた自然観察会でも、元理科教員らに交じって案内役を務めた。未就学児や小学生の参加者から「蒼志お兄さん」と慕われ、道中で見つけた植物や

旭あさひ小学校3年生の頃、同市増田町ますだまちの真人山まとうやまでの自然観察会に初めて参加。主宰しゅざいする元理科教員の酒井浩ひろしさん(67)の案内で散策さんさくし、コクワガタやヤマカガシといった生き物を夢中むちゅうで観察した。市内で開かれる同様のイベントの常連じょうれんになり、知識量や動植物を発見

生き物の特徴とくちょうを説明。捕まえたカナヘビを手てに「尻尾しっぽが切れているのは外敵がいてきに襲おそわれたときに『自切じせつ』するから。ネコとか動物に追おわれたのかもしれない」などと解説かいせつした。同市の十文字地区交流センターで5月31日に開かれた「あきた里山サミット」では、

森林管理に携^{たずさ}わる団体代表者らとともにシンポジウムに登^{とう}壇^{だん}。里山での自然観察会を通^とじて「人間も動植物も自然の中で支^さえ合^あい、生かされてい^いると感じるようになった」と語^{かた}った。

小学校5年で空手を習い始め、この春に入学した横手高校では弓道部に所属する。学習内容も難しくなり、以前のようには自然と触れ合うまともな時間は取れなくなってきた。それでも、市内で開かれる自然観察会にはできる限り参加し、運営を手伝いたいと考えている。将来は動物に関わる仕事に就くのが目標だ。

「自分の興味を否定せず、見守ってくれた家族や先生方に感謝している。身近な自然の魅力を伝える役割を担えたらうれしい」と話した。

△秋田魁新報2025年7月4日付より▽

条件

- 自然の良いところを一つ取り上げて書くこと。
- 百字以上、百二十字以内にまとめて書くこと。
- ◆ の印から書き始め、改行をしないで続けて書くこと。

[illegible]